

2026 年度ゼミ（演習 1）要覧

担当者名	森 あおい
演習テーマ	多文化主義の視点から読み解くアメリカ
演習の内容	<p>建国以来、多くの移民たちを受け入れ、多様な文化が混交し、民衆の暮らしに根差した力強い文化が生成されてきたアメリカで、第 47 代大統領ドナルド・トランプによって、移民たちの強制送還や多様性・平等性・包摂性を示す DEI (Diversity, Equity, and Inclusion) 方針の撤廃など、他者排除や多様性の否定が急速に進み、異なった背景を持つ人々の間の分断がますます深まっている。本演習では、このような分断の時代にあって、抑圧された人々のレジリエンスと彼・彼女たちの自己解放の文化表象についてアメリカ文化史を踏まえて論じる。特に人種やジェンダー、階級、宗教、環境等の問題をマイノリティの視点から検証し、多様な文化が共存する多文化主義の可能性と課題を考察する。研究対象としては、小説、雑誌・新聞記事、映画や音楽などを取り上げる。</p> <p>演習 1 で扱う主なトピックは以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ヘボン博士の活動から考える異文化コミュニケーション 2. アメリカ文化の展望 3. 植民地の文化の特徴 4. 近代市民社会の形成 5. 西部への道 6. 歌声響く新大陸 7. 金めつき時代 8. ハリウッド映画、覇権の成立 9. 新聞・雑誌の銀河系 10. 女性の文化 11. 多文化主義と混血化
テキスト・参考書	<p>亀井俊介 『アメリカ文化史入門』</p> <p>笹田直人他 『概説アメリカ文化史』ミネルヴァ書房 2002.</p> <p>その他、随時資料を配布する</p>
成績評価の基準	<p>プレゼンテーションを含む授業への参加度 30%、</p> <p>リアクション・ペーパー 40%、 レポート 30%</p>
校外実習	(実施しない)
校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額	
選考方法	提出された書類の内容を総合的に判断して選考します。
小論文 (テーマ、書式・枚数、提出期限・方法)	<p>①自己紹介(200 字程度)、②ゼミの志望理由と、このゼミで果たすことができる役割(1000 字程度)</p> <p>*小論文は、『「演習 1」申込書』の「自己紹介(興味関心や好きな本など、自由記述)」欄に記載してください。</p> <p>提出日: 5 月 22~24 日</p> <p>提出方法: manaba のレポート機能(第一次募集申込受付)</p>
メールアドレス	aomori53@k.meijigakuin.ac.jp

説明会・ オフィスアワー	(1) 5月7日(木) 昼休み(12:45-) 841 教室 (2) 5月8日(金) 昼休み(12:45-) 825 教室 ゼミの応募を考えている人は必ず出席してください。飲食可です。 (事前申し込みの必要はありません。)
履修済・履修中であることが望ましい 授業	異文化コミュニケーション、アメリカ文学概論、アメリカの文化と社会
2027・2028年度に 在外研究等で演習を 開講しない可能性	あり(2027, 2028) /
認定留学期間中(演習 2・3開講学期中)の <u>遠隔指導</u> *	可 / <input checked="" type="checkbox"/> 否 / その他()
備考	2026年度末で退職するため、演習2A, 2B, 3A, 3Bは開講しません。 来年度は、ゼミの移籍が必要になります。

* 「遠隔指導」については、「演習1」選考に関するガイダンス資料を確認のこと。